

## 資料館協議会 会議録

日時：平成31年2月7日（木）  
午前10時から10時45分  
場所：文化財事務所（駒場）会議室

委員：出席6名・欠席2名  
傍聴者：なし

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 会議事項

【佐久市重要文化財旧中込学校及び資料館条例施行規則第10条第2項により、上原会長が議長となる。】

議長： 「報告事項」、「旧中込学校・資料館の入館者状況」について、事務局から説明願います。

事務局： 「旧中込学校・資料館の入館状況」について、【資料1】により説明。

議長： ただいまの事務局からの説明についてですが、入館者は前年と比較して横ばいですが、入館者が多様化してきているとのことですので。  
ご質問・ご意見はございますでしょうか。

委員： 観光の面について、びんころ地蔵や五稜郭に観光バスが乗り入れられて見学されており、そのツアーの一つとして、旧中込学校も加わることができると思われるのですが、バスが駐車できないことが最大の欠陥であり、大勢の皆さんに見てもらうためには何らかの方法を考えなければいけないと思っています。例えば、今ある蒸気機関車やガソリンカーの裏側がゲートボール場になっていますが、現状では中込地区のゲートボール人口が減少しているので、ゲートボール場のところに蒸気機関車やガソリンカーを移動させても良いのではないかと思います。そうすると、大型バス2台程度が駐車できるのではないのでしょうか。

また、第2駐車場に関して言うと、中込第二保育園関係の車が駐車されていたり、近所の方々が駐車したりしていると、バスが入りたくても入れない状況もあろうかと思います。保存会の方々により駐車場の看板を作って出してもらっていますが、なかなか気づいてもらえない状況もあります。そうすると、佐久に訪れるツアーの一環の中で、旧中込学校が組み込まれると、さらに入館者が増え、旧中込学校の周知にもつながり、それが拡散して良い方向に向かうのではないかと思います。

観光協会では、今年度は臼田地区が観光重点地区となりまして、来年度は浅科地区、そして、その次の次あたりに中込・野沢・平賀・内山地区が重点地区になると考えられます。ゲートボールをやられている方を説得するのは難しいことですが、その時までには駐車場を工夫して、入館者を増やすことができれば良いと考えています。佐久市の貴重な宝を何とか公にしていければと思います。

事務局： 駐車場に大型バスが複数台停められないことは、事務局としても重々感じております。第2駐車場については、ほとんどの団体観覧者は事前に必ず連絡がありますので、このような時は、観覧者以外の車については、駐車しないように事前に伝え、バスが入れるように配慮しております。また、大型バスが来た際は、旧中込学校で観覧者を降ろしていただき、ぴんころ地蔵さんの駐車場に一旦待避していただき、出発時間にまた迎えにきてもらうというケースがよく見られます。いずれにしても駐車場は何とか確保したいという思いはあります。

委員： 旧中込学校は入ってすぐに展示資料があり、「学校」という雰囲気ではなく、資料を見て歩くという観覧方法になりますが、資料館を拡充し、校舎1階を「空間を楽しめる場」として活用できればと思います。何年前に、小学校の先生には袴、児童には着物を着させて、昔の授業を体験させたということもありました。そのようなイベントをすとなれば、ある程度「空間」が必要になると考えられます。確かに、あの1階のスペースを有効に活かすには、今ある展示資料も貴重なものですから、それをどこかに移動させるという話になりますが、例えば、現資料館を拡充するなど、ある程度抜本的に何か対応しないといけません。校舎そのものは手を入れていただいて、きれいになっているわけですから、そこ以外で資料を入れるとなると、資料館の拡充などが不可欠であると考えられます。

旧中込学校は、日本最古級の擬洋風学校ということですから、そのことを更にアピールしていけたら良いのではないかという思いがありますが、それには何らかの形で工夫をしていかなければならないと考えています。中込地区の人が協力してお金を出し合って学校をつくったという「先人の思い」の歴史を辿ると、中込地区の人だけでなく、佐久市全域という広範囲で考えても魅力的でありますので、保存会を中心に旧中込学校を盛り上げていくことはできるのではないのでしょうか。そのためには何らかの「テコ入れ」が必要になってくるかと思えます。松本市の開智学校を見てみると、駐車場も整備されていますし、こちらと規模は違いますが、空間なども上手に活用されているように感じます。

議 長： 事務局からは後ほどまとめてご回答をいただくこととしますが、他の委員の方でご意見がある方はおりますでしょうか。

委 員： 龍岡城については、平成30年の1月から12月までの来訪者は、前年と比べると15%から20%増となっています。例えばプルーンの時期に、関東地方のバスツアーが10回ほど来て、いずれも満員で、プルーン狩りとともに龍岡城に来訪された経緯があります。そして、龍岡城が「続日本100名城」に認定され、スタンプラリーが始まったことにより、急激に来訪者が増えました。そのようなことが大勢来訪されるきっかけとなっています。

例えば、長野県内には松本市の開智学校や、坂城町の格致学校や、群馬県の中条町にも古い学校があります。そのような各学校と連携し、「学校めぐり」のようなツアーなどがあれば、大勢の方が来られるのではないかと思います。「お城」についてはファンなどがいる一方で、「古い学校」にはそのようなファンがいないかもしれませんが、旧中込学校だけでなく、同じような古い学校が連携して観覧者を呼び込むような方策が考えられれば良いと感じています。

議 長： 他の委員の方でご意見がある方はおりますでしょうか。

委 員： 先日、旧中込学校の紹介DVDを保存会からいただいたのですが、今年の春に地域公民館長会議で、そのDVDを使用して研修会を開催しようと考えています。そのDVDを見ることで、改めて見識を深める方もいると思いますし、旧中込学校に行ったことない方は興味を持っていただくこともでき、観覧者増加に向けて何か良い方策が思い浮かぶかもしれませんので、有効に活用させていただきます。

議長： ただいま保存会の話が出ましたので、ここで保存会について現在の状況を述べさせていただきます。現在の会員数は約250人で、どなたでも保存会の活動に協力したいという人であれば入会できます。その中で各地区から選出された合計40名が理事となり、教育委員会との委託契約に基づいた保存会活動を実施しています。教育委員会とは、定期的に会議を設けて、保存会の考え方、地域の考え方を伝え、そしてそれに対する教育委員会の考えを聞いて会員に知らせるという関係で保存会を運営しています。

なお、保存会でも協力している開校記念日にちなんだ秋の無料公開日ですが、最近観覧者が少なくなってきたおり、教育委員会でも様々なデータに基づいて、皆さんが来やすいように検討しますという回答をいただいているところです。私が印象に残っているのは、2年ほど前の無料公開日に、中込地区の方が来られて、「川上村から中込に来て60年間で、初めて旧中込学校の中に入った」という話を聞きました。その方からは、「このような無料公開日を設定していただき、大変ありがたかった」という感想もいただきました。そして、「太鼓楼に上りたい」と言っていました。杖を突いていたことから危険であると判断し、お断りをした経緯があります。そこで、太鼓楼は狭く、階段が急であることから、安全のために網を張ったり、手すりを設置したりという安全対策を検討していただきたいです。

議長： 他の委員の方でご意見がある方はおりますでしょうか。

委員： 本日皆さんの様々な意見を聞いて、せっかく素晴らしい旧中込学校があるのですから、これを何とか皆さんに知ってほしいと思いました。結婚に際するサプライズ企画の撮影会も誘致しており、知人達から大変素晴らしいことであるという話も聞こえてきており、今以上に様々なことを宣伝したらどうかという意見もあります。中込商店街も若い人達が入ってきたことにより活気づいているので、旧中込学校でも1階部分に空間を作って、若い人達の意見を取り入れる中でイベントを企画し、周知を図っていただきたいものです。

委員： 地域住民としては、現在、生活に支障のあるモミノキとケヤキの伐採を教育委員会に依頼しているところです。この点については着手できることかと思いますが、旧中込学校は観光資源であることから、教育委員会でもう少し予算を取っていただき、樹木の剪定などの美化的な取り組みをお願いしたいところです。

議 長： 全員の委員から貴重な意見が出たかと思えます。すでに教育委員会で検討いただいている問題、あるいは保存会と協議している問題もある一方で、予算的に難しい問題もあるわけですが、一括して事務局からご回答をお願いします。

事務局： 委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

皆さんが感じていらっしゃることは、事務局の方でも感じているのですが、予算等の関係もあり、なかなか着手できないこともございます。ただし、常に問題意識は持っており、その解決に向けてどのようなことをしていけば良いのかということも考えてはおりますので、多少時間はかかるかと思いますが、その点につきましては少しお時間をいただきたいと思います。

委員から話題に上がった結婚に際するサプライズ企画の撮影会については、裏では事務局も苦勞をしており、今まであまりそのようなことを実施してこなかった関係で、平成28年度から撮影会を誘致しはじめたわけですが、やはり一般に見学される方もいて、素晴らしいことをしているとお褒めいただく一方で、静かに学校を見学されたい方からは苦情を寄せられる場合もあります。その中で、折り合いをつけながら、日程を動かしていけるようであるならば、なるべく休館日をお願いしたいと伝えますが、撮影する方の中には土日でないと来られないという方もいます。そのような交渉をしていく中で実現しているということをご理解いただきたいと思います。

議 長： ありがとうございます。「報告事項」は以上となります。  
最後に「その他」の点で事務局から説明願います。

事務局： 事務局から2点ございます。

1点目ですが、3月9日の「佐久市民の日」ですが、これに関連しまして、今年度も3月9日、10日の土日の二日間を無料公開としたいと考えております。委員の皆様もお知り合いの皆様にご周知いただき、多くの方に来ていただければと思います。

2点目ですが、先ほど委員からお話がありました校舎北側にありますケヤキは、落葉が多く、また滑津駅から徒歩で、角まで来たときにケヤキが邪魔して校舎が見えないということから、場所がわかりづらいという声も聞こえてきます。また、地元の前林区からも要望が出ている状況であり、来年度中にケヤキについては伐採をさせていただきます。

事務局からは以上です。

議 長： ただいま説明いただいた件につきまして、委員の方でご意見がある方はおりますでしょうか。

委 員： 無料公開については、広報や回覧板などによる周知はありますでしょうか。

事 務 局： 今回は「佐久市民の日」にちなんだ無料公開であり、単独事業ではないので、関連事業で佐久市の中で無料及び割引がなされる施設に関しては、広報やホームページで一括して周知がなされます。また、それぞれの施設には「佐久市民の日」に関する掲示がなされる予定です。個々の回覧板による周知は、教育委員会では行いません。

なお、広報については、広報3月号の別冊版に掲載されます。また、ホームページに関しましては2月6日からご覧いただけるようになっています。

委 員： 広報だけでなく、新聞・テレビなどにも情報提供してもらおうと、佐久市だけにとどまらない周知ができると思いますので、今後よろしくお願いします。

議 長： 他に委員の方から、ご質問はありますでしょうか。

特にないようですので、これで本日の会議事項は終了させていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

これで、議長の任は閉じさせていただきます。

**【審議終了により議長退任】**

4 閉 会